

養護教諭・教員、学校にかかわる医療関係者、ネットアドバイザーのみなさん！

子どものネット・スマホ長時間接触で 脳の発達障害や健康被害を 危惧されておられる方のための インストラクター認定講習コース・研修コース



あなたもインストラクターになりませんか？

スマホの急激な普及と低年齢化により、乳幼児・児童・生徒のネット・スマホ長時間接触による、**脳・視聴神経の発達障害・心と体の健康被害・ネット依存**は深刻になりつつあります。

子どもをネットによる健康被害から守るには啓発しかありません。

しかし、この実態と対策を科学的根拠に基づき初歩的な講演のできる方は極めて少ないのです。

そこで、学校等でも、子ども・保護者を対象にしたネット健康被害に対する初歩的な講話・講演を担えるようになるため、青森県内の養護教諭等学校教育関係者、学校に係わる医療関係者、ネットアドバイザーの方への講習会を企画しました

希望者には、有料で講習会使用教材を提供します。すぐ使い、講演・講話ができます。

講習は、ネット健康啓発者養成全国連絡協議会が承ります。

日時

1日目 2018.1.13 [土] 9:30～16:30

2日目 2018.1.14 [日] 9:30～16:30

※可能な限り、両日のご参加をお待ちしております。

場所

青森県教育会館 2階会議室

(青森市橋本1丁目2-25)

	主な対象	参加日	受講料	定員	認定証	※教材の提供 (有料)
認定講習コース	ネットアドバイザー、 医療、教育関係者など	両日	無料	10名	あり (受講後、課題提出し、 審査合格した場合)	全部
研修コース	養護教諭、教員、学校医 推薦医療専門家、 教員OB、保護者など	両日もしくは どちらかの日	無料	20名	なし (講習受講のみ)	一部

※本講習は、当日使用する教材（パワーポイント）を、認定講習コースの方は全部、研修コースの方は一部を提供できます。

提供希望者は著作権相当料・審査料（認定講習コースのみ）を、養成連絡協議会事務局にお納めください。

教材の制作は、医療関係者を含めた「内容教材開発委員会」が実施します。

詳細は「ネット健康啓発者養成全国連絡協議会」のウェブサイトをご覧ください。www.net-kenkou-youseikyo.com

※当講習は、青森県教育弘済会の補助金助成を受けて開催します。



ネット健康啓発者養成全国連絡協議会とは？

日本医師会や日本小児科医学会のご配慮で、医療関係者、教育学・社会学者、全国のネットアドバイザー団体の連携協議会として発足。顧問は、道永麻里氏（日本医師会常任委員）、川島隆太氏（脳科学者・東北大学）、樋口進氏（精神科医・久里浜医療センター院長）、他2名。13名の設立発起人で2017年12月設立予定。共同代表、大谷良光（元弘前大学）、他2名。

主催/子どものネットリスク教育研究会 青森支部 共催/公益社団法人青森県医師会

後援/青森県学校保健会、青森県養護教員会

協力/公益財団法人日本教育公務員共済会青森支部、一般財団法人青森県教育厚生会

講習の詳細と、お申し込み方法は裏面をご覧ください>>>

1日目:1月13日(土) 9:30~16:30

	テーマ	講師	詳細
	教員講演会	大谷 良光	「ネット長時間接触による健康被害の実際と啓発・講習の原則」
(1)	講演基礎講座	矢野 さと子	①「子ども(乳幼児を主)の発達について」※②③は2日目に実施
(2)	脳の発達障害	大谷 良光 矢野 さと子	①脳の基礎知識(講演に必要な最低限の知識) ②学力・言語能力低下の事実 ③LINE・スマホによる学力低下の直接的要因 ④メディア・ゲームの長時間接触による前頭前野の機能低下 ⑤睡眠時間の減少と睡眠障害による海馬の発達不全等 ⑥発達障害の対策と脳の発達の促進
(3)	睡眠障害と自律神経の発達不全	成田 弘子 大谷 良光	①睡眠の役割・ノンレム睡眠の記憶整理 ②慢性的睡眠不足による成長ホルモンの分泌異常 ③夜のブルーLEDライトによる睡眠障害 ④生活リズムの乱れ・体内時計の狂いと自律神経不調

2日目:1月14日(日) 9:30~16:30

	テーマ	講師	詳細
(1)	講演基礎講座	本間 史祥	②講演の心得 ③教材開発・PPの活用方法 ※①は1日目に実施
(4)	視聴神経の発達障害	大谷 良光	①視力低下、眼精疲労による「スマホ老眼」、ブルーLEDライトの近距離直射による加齢黄斑変性 ②スマホによる「寄り眼」での立体視異常と急性内斜視
(5)	その他の体の発達障害	成田 弘子	①体力低下の悪循環とロコモティブ症候群予備群・運動器の衰え ②その他
(6)	ネット依存(社会学の視点)	矢野 さと子	①ネット依存の定義・現状・問題点 ②ネット依存の心理的側面 ③ネット依存の社会的メカニズム ④ネット依存の予防
(7)	発達障害を防ぐ対策	成田 弘子	①「成育基本法」の成立と「新ネット・生活習慣病」対策 ②家庭と学校での連携したルールづくり等

◆講習講師《教材作成分野チーフ》

- ・大谷良光(子どものネットリスク教育研究会 代表、弘前大学 前教授)
- ・成田弘子(白梅学園大学 前特任教授、子どもとメディア関東 代表)
- ・矢野さと子(子どもとメディア関東 事務局長、子どものネットリスク教育研究会 主幹研究員)
- ・本間 史祥(子どものネットリスク教育研究会 副代表)

《内容教材総監修》

- ・中島匡博(日本小児科医会「子どもとメディア委員会」委員長、小児科医)
- ・田澤雄作(国立病院機構仙台医療センター小児科 元部長、東北大学大学院医学系研究科 元臨床教授)
- ・山田真理子(子どもと保育研究所ぶるほ 所長、九州大谷短期大学 名誉教授)

《他の教材作成分野チーフ》

- ・伊藤賢一(群馬大学社会情報学部 教授、社会学者ネット依存研究)
- ・古野陽一(北九州市立大学 非常勤講師、NPO子どもメディア 常務理事)

お申し込み・お問い合わせ

参加希望は、メールにてお申し込みください。お名前、所属・役職、電話番号、メールアドレス、希望コース(認定講習コースor研修コース)、参加日(両日or1日だけ)を明記し、メールを送信してください。※締切日:12月26日(火)

✉ kodomo_netrisk_aomori@yahoo.co.jp (担当:子どものネットリスク教育研究会 青森支部 本間史祥)

お申し込み前に、「ネット健康啓発者養成全国連絡協議会」のウェブサイトをご覧ください。
www.net-kenkou-youseikyo.com